

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	電気電子工学実験2 (Engineering Experiments 2 on Electricity)		
ナンバリングコード	J31609	大分類 / 難易度 科目分野	機械電気工学科 専門科目 / 応用レベル 実験・実習
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:未来創造工学コース、電気・電子情報コース 選択:ものづくり設計コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	J160951	クラス名	-
担当教員名	伊藤 順治		
履修上の注意、 履修条件	静電気対策をして出席してください。 課題中心の実験、演習です。効率よく実施するように心がけてください。		
教科書	演習、実験指導書を事前にユニパで配布します。		
参考文献及び指定図書	適宜ユニパで提示します。		
関連科目	電子回路1、2、制御工学、Cプログラミング、数理解析、機械電気計測、情報通信工学		

○基本情報		
授業の目的	機械電気工学科ディプロマ・ポリシー[関心、意欲、態度、知識、理解、表現、思考、判断、想像]に基づき、電子回路1・2で学習した諸種の機能を持つ電子回路を、シミュレーションを通じてその働きを確かめて、将来の回路設計に役だてる力を養います[関心、意欲]。能動素子の等価回路から導かれた回路の各種の動作量をシミュレーションから確認し回路の働きを十分理解してもらいます[知識、理解、]。理論式と等価回路を用いたシミュレーション値の違いを理解してもらいます[表現、思考、判断、想像]。商用ベースの回路シミュレーターを使用することによりより実践的な内容になっています。	
授業の概要	前半は次の項目についてシミュレーションを行います。 (1)トランジスタの動特性 (2)FETの動特性 (3)各種アナログ電子回路	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「実験実習形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	・実務経験者名：伊藤順治は30年間にわたる電気電子機械メーカーにおいて研究開発業務を行いつつ学会活動を通じて博士号を習得している。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	効率よくデータの収集、加工、処理することが出来る。		15点	10点
【知識・理解】	シミュレーションを理解し、利用することで最適化することが出来る。	15点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	周囲の仲間と相談しあって問題解決することができる。 プログラミングを通して解決方法をプレゼンすることが出来る。		10点	15点
【思考・判断・創造】	課題を効率よく解決することが出来る。 必要な情報を自ら探すことが出来る。	15点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
課題、演習に対してそれぞれ配点を行い、期日までに達成した場合100%の加点をする。期日を過ぎて達成した場合は~50%の配点で加点を行う。加点状況は各回で開示する。具体的な配点については初回に開示し、都度状況に応じて変更することがある。
試験等の解答は、授業内で解説、または教員室で適宜、対応します。

○その他
専門性が強く、関連する講義を履修していない場合は課題を時間内に解決することは困難である。したがって、予習と復習と行わないと100%の評価を受ける事ができない。各自 教室のPC及び各自のPCを活用し効率よく演習、実験を行う必要がある。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	電気電子工学実験2 (Engineering Experiments 2 on Electricity)	授業コード	J160951
		担当教員	伊藤 順治		
学修内容					
1. ガイダンス シミュレーションの設定					
実験の進め方について説明し、回路シミュレーションの概要を説明し、各自のPCにシミュレーターの設定をしてもらいます。					
予習					約2時間
復習		配布した資料を読むこと			約2時間
2. ガイダンス シミュレーションの設定					
実験の進め方について説明し、回路シミュレーションの概要を説明し、各自のPCにシミュレーターの設定をしてもらいます。					
予習					約2時間
復習		ソルバーについてのレポートを作成する。			約2時間
3. トランジスターの動特性のシミュレーション					
①ベース接地					
基本増幅回路の一つで、特にインピーダンス・マッチング等に多用されるベース接地の独特な機能を理解する。					
②エミッター接地					
最も一般的な増幅回路で、トランジスターのhFEに応じて、電圧利得、電流利得、電力利得の回路構成、を実験を通してその特徴を理解する。					
予習		トランジスタの等価回路を調べる			約2時間
復習		次週までに課題を提出する			約2時間
4. トランジスターの動特性のシミュレーション					
①ベース接地					
基本増幅回路の一つで、特にインピーダンス・マッチング等に多用されるベース接地の独特な機能を理解する。					
②エミッター接地					
最も一般的な増幅回路で、トランジスターのhFEに応じて、電圧利得、電流利得、電力利得の回路構成、を実験を通してその特徴を理解する。					
予習		トランジスタの等価回路を調べる			約2時間
復習		次週までに課題を提出する			約2時間
5. FETの動特性のシミュレーション					
電圧増幅器として最も普通に用いられるRC結合2段増幅回路を用いて、周波数特性、増幅率、利得、位相等を理解する。					
予習		FETの等価回路を調べる			約2時間
復習		次週までに課題を提出する			約2時間
6. FETの動特性のシミュレーション					
電圧増幅器として最も普通に用いられるRC結合2段増幅回路を用いて、周波数特性、増幅率、利得、位相等を理解する。					
予習		FETの等価回路を調べる			約2時間
復習		次週までに課題を提出する			約2時間
7. 電力増幅回路のシミュレーション					
増幅回路の種類には動作特性により色々あるが、本実験ではB級増幅回路を用いて、出力に与える電力の大きさ、効率、非直線ひずみ、及び能動素子の電力許容範囲等を理解する。					
予習		各級増幅器を調べておく			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
8. 電力増幅回路のシミュレーション					
増幅回路の種類には動作特性により色々あるが、本実験ではB級増幅回路を用いて、出力に与える電力の大きさ、効率、非直線ひずみ、及び能動素子の電力許容範囲等を理解する。					
予習		課題の達成			約2時間
復習		次週までに課題を提出する			約2時間

○授業計画		科 目 名	電気電子工学実験2 (Engineering Experiments 2 on Electricit	授業コード	J160951
		担当教員	伊藤 順治		
学修内容					
9. 発振回路のシミュレーション					
コルピッツ発振回路のシミュレーションを行い、発振器の原理を理解する。					
予習	発振回路について調べておく				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
10. 発振回路のシミュレーション					
コルピッツ発振回路のシミュレーションを行い、発振器の原理を理解する。					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
11. 差動増幅回路のシミュレーション					
CMMRをシミュレーションにより理解する					
予習	差動増幅器について調べておく				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
12. 差動増幅回路のシミュレーション					
CMMRをシミュレーションにより理解する					
予習	課題の達成				約2時間
復習	次週までに課題を提出する				約2時間
13. OPアンプのシミュレーション					
OPアンプの各種回路についてシミュレーションをしてもらいます					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
14. OPアンプのシミュレーション					
OPアンプの各種回路についてシミュレーションをしてもらいます					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
15. LEDのダイオード特性の実験					
ブレッドボードによりLEDの電流電圧特性を測定してシミュレーションのダイオードデバイスパラメータの合わせこみを行う					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
16. LEDのダイオード特性の実験					
ブレッドボードによりLEDの電流電圧特性を測定してシミュレーションのダイオードデバイスパラメータの合わせこみを行う					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	電気電子工学実験2 (Engineering Experiments 2 on Electricity)	授業コード	J160951
		担当教員	伊藤 順治		
学修内容					
17. LEDのダイオード特性の実験					
ブレッドボードによりLEDの電流電圧特性を測定してシミュレーションのダイオードデバイスパラメータの合わせこみを行う					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
18. LEDのダイオード特性の実験					
ブレッドボードによりLEDの電流電圧特性を測定してシミュレーションのダイオードデバイスパラメータの合わせこみを行う					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
19. OPアンプの実験①					
実際のOPアンプの回路①を作成して特性を評価する					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
20. OPアンプの実験①					
実際のOPアンプの回路①を作成して特性を評価する					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
21. OPアンプの実験②					
実際のOPアンプの回路②を作成して特性を評価する					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
22. OPアンプの実験②					
実際のOPアンプの回路②を作成して特性を評価する					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
23. 降圧チョッパ回路					
降圧チョッパ回路のADSシミュレーションによる設計を行う					
予習	指定されたE-learning教材を見ておくこと				約2時間
復習	課題の達成				約2時間
24. 降圧チョッパ回路					
降圧チョッパ回路のADSシミュレーションによる設計を行う					
予習	課題の達成				約2時間
復習	課題の達成				約2時間

○授業計画		科 目 名	電気電子工学実験2 (Engineering Experiments 2 on Electricit	授業コード	J160951
		担当教員	伊藤 順治		
学修内容					
25. 降圧チョッパ回路					
ブレッドボードによる降圧チョッパ回路を作成し、オシロスコープにより波形を観測し、シミュレーションとの比較を行う。					
予習		指定されたE-learning教材を見ておくこと			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
26. 降圧チョッパ回路					
ブレッドボードによる降圧チョッパ回路を作成し、オシロスコープにより波形を観測し、シミュレーションとの比較を行う。					
予習		課題の達成			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
27. 昇降圧チョッパ回路					
昇降圧チョッパ回路のADSシミュレーションによる設計を行う					
予習		課題の達成			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
28. 昇降圧チョッパ回路					
昇降圧チョッパ回路のADSシミュレーションによる設計を行う					
予習		課題の達成			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
29. 昇降圧チョッパ回路					
ブレッドボードによる昇降圧チョッパ回路を作成し、オシロスコープにより波形を観測し、シミュレーションとの比較を行う。					
予習		課題の達成			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
30. 昇降圧チョッパ回路					
ブレッドボードによる昇降圧チョッパ回路を作成し、オシロスコープにより波形を観測し、シミュレーションとの比較を行う。					
予習		課題の達成			約2時間
復習		課題の達成			約2時間
31. 補講					
補講					
予習					約2時間
復習					約2時間
32. 補講					
補講					
予習					約2時間
復習					約2時間